

日本共産党船橋議員団

ミニにゅす

日本共産党国会議員団千葉事務所 ☎043-302-2005
 県会議員 丸山 慎一 ☎047-424-6347
 <市議団控室☎436-3030 FAX420-7201>
 市会議員

岩井 友子 ☎438-8647 事務所☎429-2160	関根 和子 ☎447-0557 事務所☎440-7950
金沢 和子 ☎422-5278	中沢 学 ☎493-8140
坂井 洋介 ☎404-2039	松崎 さち ☎090-6156-8592
佐藤 重雄 ☎432-9872	渡辺 ゆう子 ☎462-7273

海老川上流地区のまちづくり

区画整理事業ではなく、 都市計画事業で進めること

海老川上流の市街化調整区域を「区画整理事業」で開発し、市立医療センターを中心にした「メディカルタウン」にしたい、という構想が市長から示され、議会でも話題になっています。

海老川上流地区の区画整理事業は、開発区域内に土地を所有する地権者が事業主体となる「組合施行」です。船橋市は、数百億円も財政支出をする、という構想になっていますが、事業には「間接にしか関与できない」ものです。もし、あの地域が市街化調整区域のまま「ミニ開発」「資材置き場」などに利用されて環境が悪くなると

いうのであれば、区画整理事業ではなく、船橋市の都市計画事業で行うべき話です。

将来に禍根を残さないためには、都市施設（道路・公園・病院・学校・保育園など）項目が法律で定められている（の規模や配置を定めて、都市計画の変更手続きを先行させて、市の意思を明確にしたまちづくりをすべきです。

いまの自然環境を保全したいというなら、自然公園として保全することもありえるでしょう。部分的に「市街地」にするなら、保育園や学校用地を指定することも必要です。そもそも、組合施行の区画整理事

業は、最初の構想が発表されてから20年も経過し、その実現もおぼつかない話です。もう一つ、「農地は農業従事者と農業従事者の間」でだけ、売買ができるのです。

ところが、それをかいくぐって、企業が土地を買い、「所有権移転の仮登記」をつけて、「影の所有者」となり、名目上の組合員所有者の権利行使が妨げられる、というケースが、過去にもあったことも忘れてはならない教訓です。

日本共産党船橋市議団主催

無料 法律相談

11月16日(水)
12月 8日(木)
1月19日(木)

弁護士が相談を受けます
 労働相談も受けています
会場：中央公民館
時間：午後1時～4時
要予約 ☎436-3030

平成27年度(2015年度)の決算質疑から

マイナンバー制度

個人番号カード1枚約5万9千円

マイナンバー制度が導入され、2015年10月には「地方公共団体情報システム機構」から船橋市民に個人番号を記載した通知カード28万7264通が送達されました。対象人口62万6166人分です。

その後、2016年1月から本人申請による写真付きの個人番号カードが発行されましたが、3月末までの発行件数は4224件で、交付事業費が2億5121万円となっています。単純に個人番号カード交付事業費の決算額を交付件数で割り返すと、個人番号カード一枚あたりの単価は約5万9472円です。マイナンバー制度導入には船橋市だけでも「おおよそ7億1千万円かかる」と平成27年6月市議会で示されていますが「その上に今度はカード作成費が上乘せされてくるのか」と質したところ、市は「セキュリティの部分とか、カード交付とか両方含めて費用はかかってくる」と答えました。

危険な上に浪費的事业

船橋市民への個人番号カード交付件数は、2016年9月末現在、累計で3万943

2件にしかなっていません。(人口比10・5%) 今年度も多額の交付事業費が必要となってきます。高額な費用をかけても、市のメ

リットは唯一、転入してきた市民の情報を他の自治体とやりとりができる事ぐらいしかありません。また、船橋市民は個人番号を使うことで、全国のコンビニで住民票や戸籍謄本、印鑑証明をとることができ、常に他人に悪用されるかもしれない危険がつきまっています。

危険きわまりないマイナンバー制度であり、その上、次々と税金をつぎ込む浪費的事业です。

このようなマイナンバー制度は廃止すべきです。

日本の空にオスプレイ いらぬ 整備基地化反対

11.13県民大集会 in 木更津

木更津市吾妻公園

日時 2016年11月13日(日) 13時開場

会場 木更津市吾妻公園

(吾妻1-4)駐車場有り
木更津駅西口 徒歩 17分
小雨決行



■プログラム 13時 開場・アトラクション/14時 開会/15時 パレード/16時 解散

騒音や事故の危険などが問題になっている米海兵隊MV22オスプレイが24日、整備拠点設置を計画する陸上自衛隊木更津駐屯地(千葉県木更津市)に初飛来しました。抗議行動に参加した市民の簡易騒音測定器では、地下鉄の車両内や騒々しい工場の中に相当する81.8〜91.2デシベルに達しました。事故や騒音などから私たちの暮らしを守るために、整備基地化反対の声を、ご一緒に上げましょう!